



音波式ベルト張力計

U-508 アプリケーションソフトウェア 取扱説明書

U-508アプリケーションソフトウェアは、ゲイツ・ユニッタ・アジア株式会社
ホームページ(<http://www.unitta.co.jp/>)の初画面
■サポート U-508 ソフトダウンロード に御座います。
このページよりダウンロードしてご使用願います。

対応OS:日本語版 Microsoft Windows Xp/Vista/7/8

目次

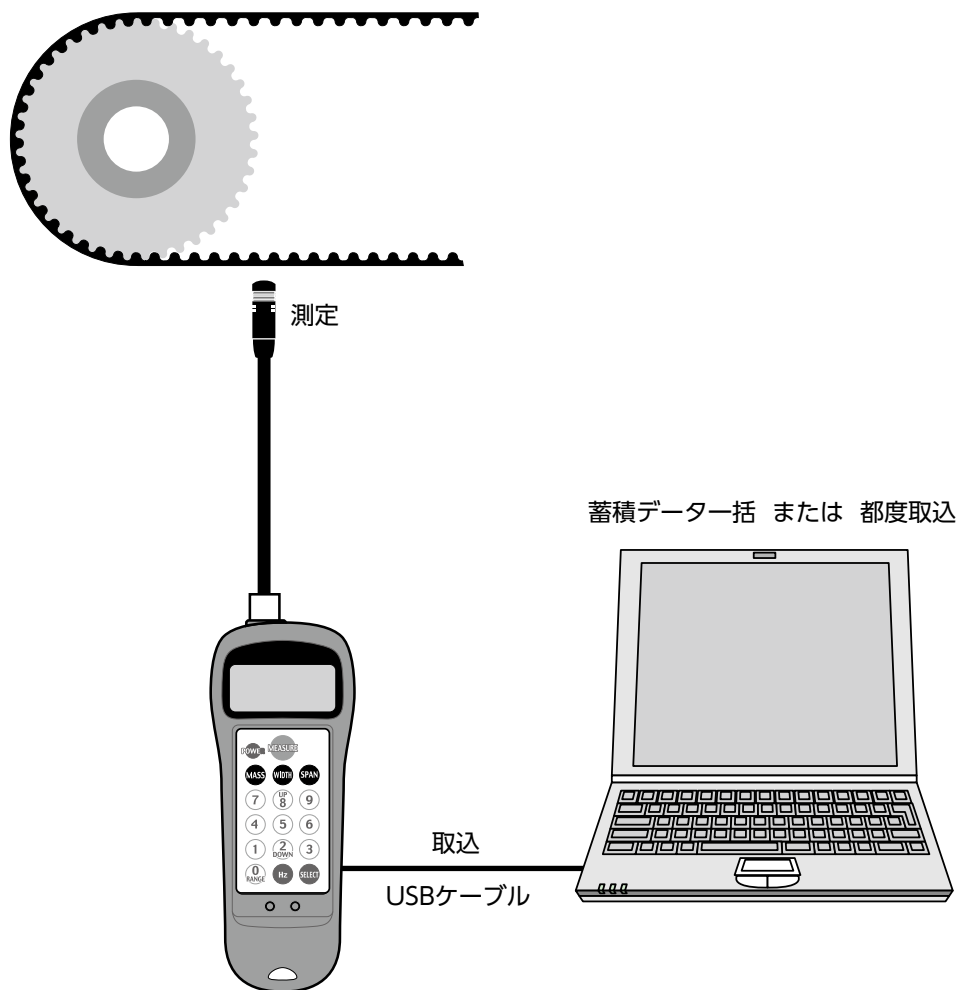
1.概要	P1	3.2時刻設定	P4
1.1動作環境	P1	3.3判定設定	P4
1.2インストール	P1	3.4端末データ設定	P5
2.プログラム機能一覧	P2	3.5データ受信	P5
3.使用方法	P3	4.USTM メイン画面	P6
3.1メイン画面	P3	4.1メイン画面	P6
3.1.1画面設定	P3	4.1.1メイン画面説明	P6
3.1.2測定結果表示エリア説明	P3	4.1.2測定結果表示エリア説明	P6

1.概要

本仕様書は、U508PCアプリケーションの機能概要について記述する

本アプリケーションを使用すると、音波式張力計U-508に蓄積した測定データをパーソナルコンピュータ(以下PCと略す)に一括取込みすることができます。

また、U-507D測定データ受信ソフトの機能(測定したデータを都度PCに取り込む機能)を「USTMエミュレート」として踏襲しています。



1-1 動作環境

- ・x86 プロセッサ ・x64 プロセッサ
- ・日本語版 Microsoft Windows Xp/Vista/7/8

1-2 インストール

- ・セットアップディスクの"Setup.exe"を実行します。
- ・その後画面の指示に従ってセットアップを行ってください。

2.プログラム機能一覧

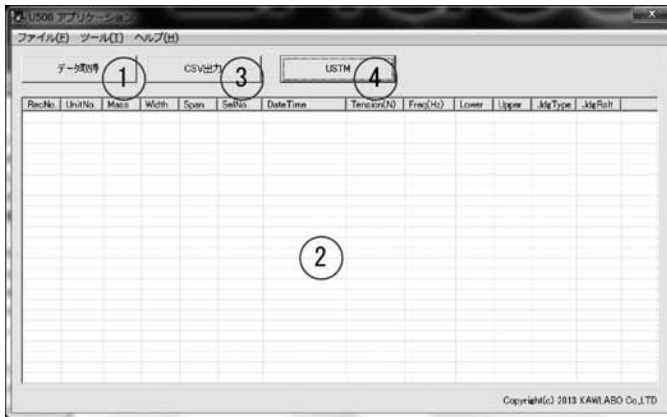
・508アプリケーションの機能一覧を以下に示す。

機能	概要
測定結果読込	U508端末に保持されている測定結果を読み込み画面に表示する。
測定結果CSV出力	読み込んだ測定結果をCSV形式のファイルに出力する。
時刻設定機能	端末内蔵RTCに時刻を設定する。
上下限值設定	端末に測定データを判定するための上下限值を設定する。 端末は、この値を使用し測定したデータ(張力または周波数)を判定する。 <u>※設定できる上下限値は、1つ測定条件のみです。</u> <u>設定したい測定条件のセル番号(測定条件番号)をインプット願います。</u>
測定結果クリア	端末に保持されている測定結果をすべてクリアする。
USTMエミュレート	USTM(U507 Sound Wave Style Tension Merer)と同等の機能

3.使用方法

3.1 メイン画面

プログラムを起動すると以下の画面が表示される。



3.1.1 画面説明

No.	説明
1	「データ取得」ボタン USBケーブルで接続されているU508より、保持されている測定結果を取得する。取得できる件数の最大は500件
2	「測定結果表示エリア」 測定結果を表示する。表示内容については以下を参照。
3	「CSV出力」ボタン ②に表示されている測定結果をCSV形式のファイルに保存する。
4	「USTM」ボタン USTMエミュレーションを起動する。

3.1.2 測定結果表示エリア説明

RecNo.	データの記録番号(1からの連番)
UnitNo.	U508に記録する端末識別番号 (3.4端末データ設定 で設定する)
Mass	測定時の単位重量 (gf/mm)
Width	測定時のベルト幅 (mm/R)
Span	測定時のスパン長 (mm)
SelNo.	測定時に端末で選択されていたSel番号 = 測定条件番号 (0~39)
DateTime	測定時の時刻 (yy/mm/dd hh:MM:ss)
Tension(N)	測定した張力値
Freq(Hz)	測定した周波数
Lower	測定時に判定した下限値
Upper	測定時に判定した上限値
JdgType	測定時の判定タイプ (N:張力値 Hz:周波数 --:判定なし)
JdgRslt	判定時の判定結果 (GOOD/HIGH/LOW,----:判定なし)

3.2 時刻設定

- ・U508アプリケーションを起動し、PCとU508をUSBケーブルで接続する。
- ・メイン画面の「メニュー」→「オプション」を選択し、「時計関連」を選択する。



- ・時刻を入力または現在時刻にチェックを入れて「時刻設定」を押す
- ・U508にPC時刻が転送される

3.3 判定設定

- ・メイン画面の「メニュー」→「オプション」を選択し、「判定設定」を選択する。



- ・判定の種別(張力値で判定/周波数で判定)を選択する
- ・予め設定した測定条件の中から、判定したい測定条件を1つ選び、そのSelNo.(測定条件番号)を選択する。
- ・判定データ配信ボタンをクリックすると、U-508本体に判定情報は転送される。

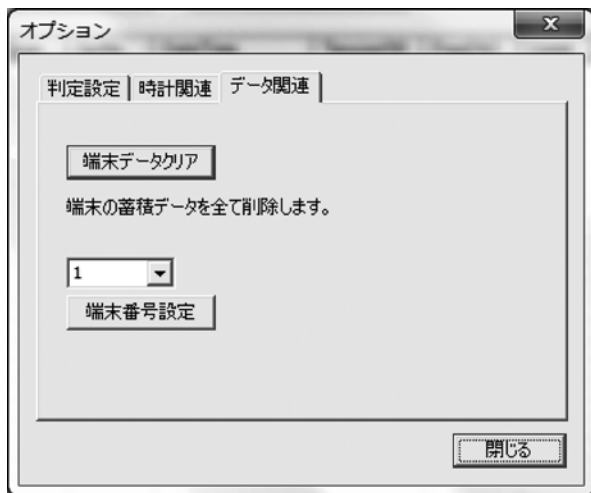
3.4 端末データ設定

・U508の測定データをクリアする

メイン画面の「メニュー」→「オプション」を選択し、「データ関連」タブの「端末データクリア」を押す。

・U508に端末番号を設定する

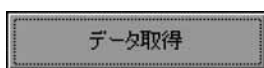
メイン画面の「メニュー」→「オプション」を選択し、「データ関連」タブの端末番号ボックスで端末番号を選択し、「端末番号設定」を押す。



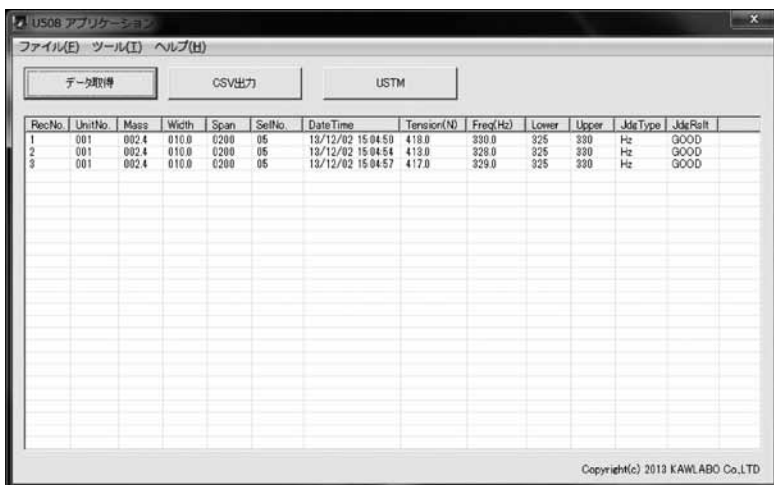
3.5 データ受信

・U508の「Sel」ボタンをメイン画面の「メニュー」→「オプション」を選択し、タブの「判定設定」を選択する。

メイン画面の「データ取得」を押す



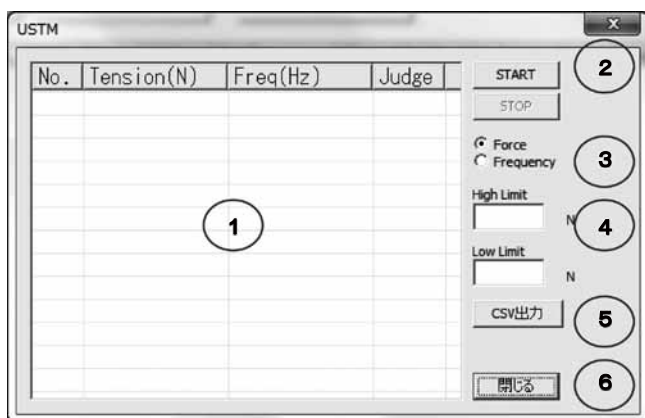
U508からPCにデータが転送され表示される



4. USTM メイン画面

4.1 メイン画面

メイン画面の「USTM」ボタンを押下すると以下の画面が表示される。



4.1.1 メイン画面説明

No.	説明
1	「測定結果エリア」 測定結果を表示する。表示内容については以下を参照。
2	「START」/「STOP」ボタン 測定結果の取得を開始/停止する。
3	「Force」/「Frequency」ラジオボタン 測定結果の判定タイプを設定する。(Force=張力で判定 Frequency=周波数で判定)
4	「High Limit」/「Low Limit」テキストボックス 判定用の上下限值を設定する。(0.0 ~ 9999.0) HighとLowともに0.0であった場合、判定は行われない。 テキストボックス内が空であった場合は0.0とみなされる。
5	「CSV出力」ボタン ①に表示されている内容をCSV形式のファイルに出力する。
6	「閉じる」ボタン USTMを終了する。終了するとU508アプリケーション メイン画面に戻る

4.1.2 測定結果表示エリア説明

No.	データ番号(1からの連番)
Tension(N)	取得した張力値を表示する。
Freq(Hz)	取得した周波数を表示する。
Judeg	取得した測定値の判定結果を表示する。(GOOD/HIGH/LOW,----:判定なし)

ゲイツ・ユニッタ・アジア株式会社

本社 〒556-0022 大阪市浪速区桜川4-4-26 TEL.06-6563-1284 FAX.06-6563-1285

ニッタグループ ▶ ニッタ | ゲイツ・ユニッタ・アジア | ニッタ・ハース ◀

U-508APPL_V01

2013年12月25日 3,000部 .D